



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〔第三四一号〕

雨水うすい

二月十八日

官舎神社の御頭さん

毎年、一月から二月にかけて、伊勢周辺では勇壮な獅子舞が神社などで行われます。伊勢地域ではとくに獅子頭が立派なことから、「御頭神事」と呼びます。しかし、今年はコロナ禍とあって、軒並み中止や神社での神事のみのみに縮小されています。

私も毎年、各地の「御頭神事」を巡り、この『暮らしのぞき箱』に書いてきました。いずれも地域の疫病退散や厄払いを願って行われてきた由緒をもちます。しかし、現実に感染症が流行すると、その疫病祓いの獅子舞ができなくなってしまうのです。なんともやるせない気持ちでいました。

けれど今年も、小俣の官舎神社では行われました。JR宮川駅そばの官舎神社は、毎年二月十一日に「ご神宝御頭神事」(市無形民俗文化財)があり、この日に祈年祭も執り行われます。朝から神域には、どんど火が焚かれ、地域の人々が注連縄などを焚き上げていきます。そこに重さ三十キロという獅子頭が胴衣をつけて、舞い始めました。仕舞いは「地舞」、「七起舞」、そして刀を手にした「悪魔払い」の三種類。獅子が地面に置かれた敷物に寝そべり、四方をにらみつけなら、口を大きく開ける場面は迫力満点でした。

ここでは、「おひねり」と呼ぶお賽銭を参拝者から集め、最後に獅子頭の口に含ませるのは、災厄を払ってほしいという人々の願いが込められているそうです。この獅子舞も昔、地区の流行病を退散させるために始まったのでした。今年は御頭さんの頭に飾られる紙垂取りや、頭を噛んでもらうことは中止になりましたが、それでもコロナ禍に伝統の獅子舞を拝見すると、災いを払ってもらおうと始まった行事の古えに心を馳せることができました。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○『おかげ横丁 ひなまつり』

平安時代から受け継がれてきたひなまつり。

桃の花や可愛らしい飾りで彩られ、いつもより華やかになり、心浮き立つおかげ横丁で、桃の節句をみんなで祝い、女の子の健やかな成長を祈る催しを楽しんでください。

と き／2月20日(土)～3月3日(水) 10:00～17:00 (催しによって異なります)

ところ／おかげ横丁一帯

※雨天および諸事情にて、中止または内容が一部変更になる場合がございます。

● 桃の節句市

かわいらしい雛人形や雛飾りの他、雛あられなどのひな菓子を揃えた市です。節句を祝うにかかせない色とりどりの商品を集めました。

と き／2月18日(木)～3月3日(水) 10:00～17:00

ところ／赤福別店舗

● 旧家に伝わるお雛様とつるし雛飾り

旧家に代々伝わる雛人形の展示と、手作りのつるし雛を飾ります。

と き／2月20日(土)～3月3日(水) 10:00～17:00

ところ／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

● 苔テラリウムづくり

雛人形には、おひな様に女の子の穢れを移し厄災を身代わりになってもらうという意味が込められています。

苔テラリウムづくり体験では苔、植物とミニおひな様を飾り自然の風景を作ります。

と き／2月20日(土)～23日(火) 9:30～17:00

ところ／おかげ横丁「孫の屋三太」前 特設屋台

参加費／苔テラリウムづくり 3,000円(税込)～

苔玉づくり(苔玉雛) 4,000円(税込)～

盆栽づくり 3,000円(税込)～

五十鈴塾

○ 中国茶と飲茶を楽しむ

中国茶は製法によって大きく六大茶類(青茶・黒茶・緑茶・紅茶・白茶・黄茶)と、その他のお茶(花茶等)に区分されます。中国茶に魅せられ何度も中国に行き、産地も巡ってきた須永先生に、美味しい飲茶と中国茶を楽しむ講座をお願いしました。

まずお楽しみの飲茶を召し上がっていただいた後、黒茶の代表格で最近、美容と健康への関心の高まりから人気がある後発酵茶のプーアル茶。もう一つは、胎菊茶。

中国では「菊を愛でると長生きできる」と考えられ、重陽節には菊の花を見に行ったり、菊のお酒を飲んだり、漢方としても利用されています。花が咲く直前のつぼみを使ったお茶で、お湯を注ぐと爽やかな香りとほんのりした甘味に癒されます。

その効能は、眼精疲労、解毒作用、鎮痛作用、肝臓の働きを良くするなど、中国茶は健康志向の方にオススメです。

と き／2月22日(水) 12:00～14:00

講師／須永 知佐(中国茶茶房「茶KURA」オーナー)

参加費／一般3,200円 会員2,700円(お茶・飲茶・お菓子代含む)

集合／12:00に「茶KURA」

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

うめ

梅ごよみ

一年の中で一番に咲く香しい梅の花の頃です。薄紅色のかるかんで白小豆を散らした羊羹を巻きました。あちらこちらで咲く梅の花を想像してみてください。

つばきもち

椿餅

「源氏物語」の中にもその名が見受けられる椿餅です。桂皮が香る道明寺でこし餡を包み、椿の葉で挟みました。ほのかな香りをお楽しみください。

な はな

菜の花

温暖な気候の伊勢志摩地方では、年頭から菜の花が咲き始めます。白餡の村雨生地を菜の花色に染めて粒餡を包み、春景色を表現しました。